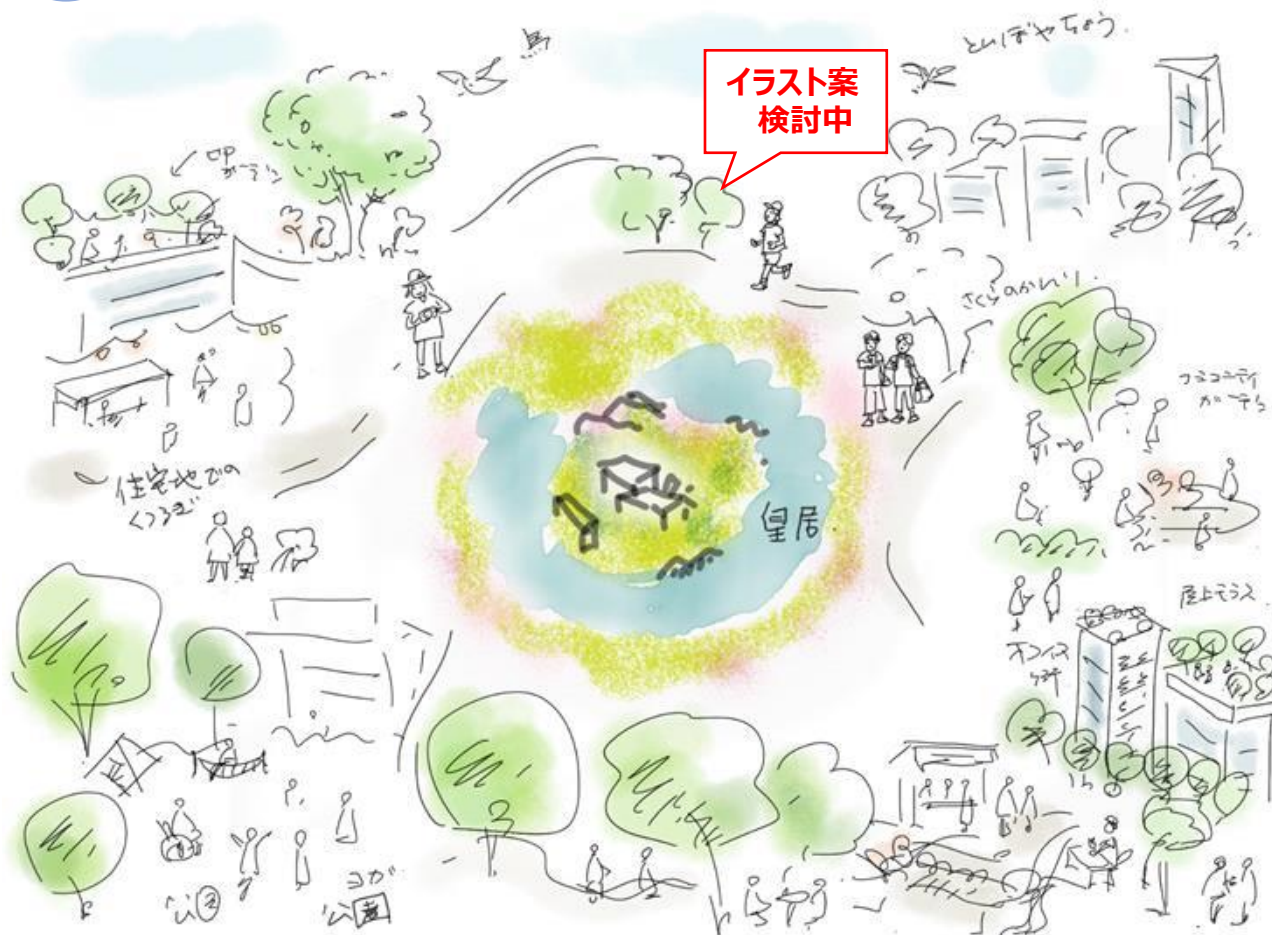


緑と水辺がつなぐ良質な空間をつくり、活かすまちづくり

未来へのまなざし

居心地の良い空間の多様性



歴史・文化がつながる

- ◇江戸城の遺構と緑と水の骨格が形づくる都心の豊かな環境創造軸
- ◇様々な生き物の多様性、過ごしやすさをもたらす生態回廊

ひと・まち・コミュニティがつながる

- ◇都心の環境や眺望、境界の個性を活かし、多様なひとが思い思いのスタイルで豊かに時間を過ごせる居場所
- ◇公共・民間のオープンスペースがつながり、心地よく過ごし、歩ける空間

未来・世界へとつながる

- ◇国内に止まらず、世界のひとからも親しまれる都心の豊かな環境

あらゆる情報でつながる

- ◇先端技術や ICT を活用した効率的なオープンスペースの維持管理・活用や多彩なサービス（ビジネス）

1 概況

(1) 従来のも目標

緑と水辺を守り、つくり、つなげ、より身近なものに

- 生活にうるおい、やすらぎを与える緑や水辺などの自然の役割を十分活かす
歩道に木陰をつくる ヒートアイランド現象の緩和 大気の浄化 鳥や昆虫の棲める環境づくり
良好な景観づくり 防災性の向上 都市の環境保全
- 今あるかけがえのない豊かな緑と水辺を守り、そしてさらに、つくり、つなげることで、より身近で自然に親しみ、安らぎを感じられるまちにしてい

(2) これまでのまちづくりの主な取組み・成果

- 地区計画（緑化率の最低限度等）や「千代田区緑化推進要綱」による緑化指導により、敷地内や屋上への緑化を推進し、緑被面積が増加しました。
- 都市開発諸制度など開発事業にあわせて、官民が連携し、空地と良好な緑、水辺の空間を創出しました。
- 千鳥ヶ淵緑道や大手町川端緑道の整備等により、緑豊かな水辺の歩行者ネットワークが拡大しました。
- 区の花さくら再生事業や道路・公園等のアダプトシステムの促進を通じて、緑化推進の普及啓発を進めました。

(写真)

(写真)



敷地内の緑化

開発事業にあわせた水辺の空間の創出

大手町川端緑道

(3) これまでのまちづくりで残った課題

- 皇居や皇居外苑、日比谷公園、靖国神社、外濠公園等の大規模な公園・緑地がある一方で、まちなかの公園・緑地が不足しています。

(4) これからのまちづくりの視点・論点

- 風の道、生態回廊がつながり、生物の多様性をエコロジカルな都心環境
 - 公共の緑（公園・街路樹等）と水辺の空間の維持管理
 - サードプレイスなど、都心生活の質を高める空間（プレイスメイキング）
 - まちを歩く目線、グランドレベルで豊かさを感じる空間の連続性
（建物低層部、建物周囲の空地、道路・公園等の公共空間）
 - 豊かな都心生活につながる緑と空間の活用のためのデザインとマネジメント
 - 空間の認定・評価や企業貢献を促進し、環境を豊かにしていく制度活用
 - 維持管理・活用への参画や合意など、区民等の緑とのかかわり
-

(5) これからのまちづくりの考え方

○皇居等の大規模な緑地や身近な緑と水辺の連続性の高い空間の創出

皇居や内濠、外濠など、江戸城の遺構や日比谷公園、靖国神社など、歴史的価値のある大規模な公園・緑地や水辺を活かし、都心ならではの快適な環境を次世代に継承していくことが、都心・千代田が国内だけでなく、海外から訪れるひとにも愛される重要な魅力となります。また、公園・緑地や水辺、道路、開発等によって生まれる民有の空地など、まちなかの多様な空間の連続性を高めて、まちにうるおいをもたらし、心地よい風が通る空間を広げていく必要があります。

○時代に合った価値を生む多彩な空間（場）の創出と活用、活動の発展

住み、働き、訪れ、活動する多様なひとが、それぞれのスタイルで心地よく過ごし、その時間の豊かさを感じられるような場所を増やしていくことが都心・千代田区ならではの魅力・価値をさらに一層高めます。空間はつくるだけでなく、空間を利用した活動がまちの魅力・価値を高め、文化を醸成していけるよう、維持管理や運営などにおいて、まちや携わる人の個性や特徴を活かして創意あふれるマネジメントを行っていけるようにすることが重要となります。

2 方針

皇居を中心とする豊かな緑と水辺のネットワークが拡がり、居心地のよい空間で、多様な生命が息づき、人々が豊かに過ごしていけるまちづくりを進めていきます。

江戸城の遺構を骨格とした緑と水辺の継承と充実

緑と水辺の心地よさが際立ち、安らぎを感じる都心環境を形成していきます。

- 皇居を中心としたまとまった緑、内濠・外濠の桜並木や土手の緑など、今あるかけがえのない豊かな緑と水辺の環境を保全していきます。
- 江戸から継承する緑と水辺の遺構を顕在化・再生し、都心・千代田の歴史と風格を感じながら、居心地よく過ごせる空間や親水性の高い空間をデザインし、つなげ、広げていきます。
- 皇居や内濠・外濠、神田川、日本橋川を核として、放射・放射の幹線道路と一体となって、質の高い緑と水辺空間とつながる心地よい環境をまちなかに広げる環境創造軸の形成を進めます。
(皇居から展開する生物多様性／風の通る道、ヒートアイランド現象緩和などによる快適な都市環境形成／内濠・外濠、日本橋川、神田川等の水質の浄化)
- 民有地の樹林・樹木や生垣などの身近な緑を保全し、建築・開発の誘導を通じて、内濠・外濠、神田川、日本橋川の水辺とつながり、まちなかに心地よい風やうるおいをもたらし、自然に親しみ安らげる空間を充実させていきます。

コラム 江戸城の遺構、緑と水辺を活かした空間のつながりと豊かな都心生活の“場”
～風の通る道、水辺を活かした空間と建築、サードプレイス・・・～

[illegible]

方針 2

都心生活の価値を高める 多彩な空間の創出・再生（デザイン）と創造的活用

オープンスペースからまちづくりを考え、ひとの目線で多彩な空間^(※)の質と機能、連続性を強めていきます。

※緑地・公園と水辺、道路沿いや建物周囲の空地、屋上・テラスの空間など

- 既存の公園・緑地、街路樹など、公共の緑の効果的な維持管理と再生を進めます。
- 大規模開発等で創出する空地や緑や水辺の空間は、周辺の空地や道路や公園・緑地等の公共空間や公共施設との連続性・一体性を強め、まちとひと、豊かな都心生活がつながっていくよう、次のような空間等がデザイン・創出されるよう誘導していきます。
 - ・こども、高齢者、外国人来訪者などが安心してくつろげる空間
 - ・ひとが歩くグランドレベルでうおいを感じ、居心地や使い勝手が良く、地域のひとに愛される空間（建物周囲）・プレイス（建物低層部）
 - ・うおいの厚みを感じる立体的な緑、開放感や快適性を感じる空間
 - ・皇居や内濠・外濠、東京駅などの象徴的景観などを活かして、都心ならではのくつろぎの時間を過ごしなが、ゆったりと眺望を楽しめる空間
 - ・都心ならではの魅力あるアクティビティを誘発し、職場と自宅の間で、日常の都心生活を豊かにする居心地の良い場所（サードプレイス、朝や夜間の賑わいと交流空間）
 - ・健康のためのランニングやウォーキング、スポーツ、ペットの散歩など、多様な目的・スタイルで訪れるひとが共生する空間

方針 3

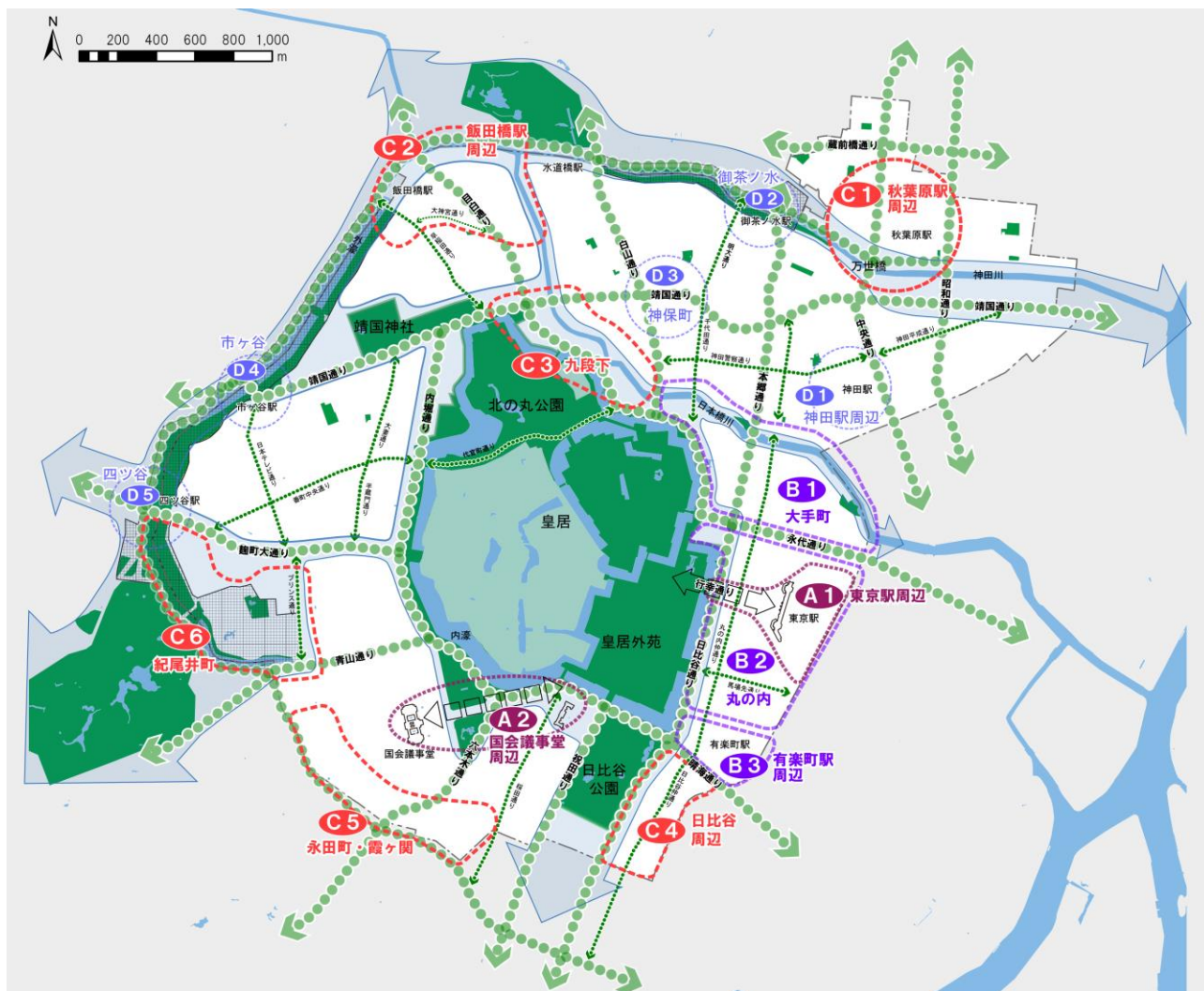
官民が連携して、平常時・災害時の 多面的な空間活用を広げるマネジメント

都心の楽しさ、居心地の良さを感じられる創造的な空間活用と管理・運用を広げていきます。

- 都市計画中央公園等、皇居・濠と連続性の高い公園・緑地の一体的な管理・活用を進めていきます。
- 都心・千代田のまちづくりの系譜の中で育まれた個性あるまちの界限性、人のつながり、都心生活の豊かさを育む創造的な空間活用と“場”の創出を促進していきます。
- 平常時・災害時にオープンスペースの多面的な機能が発揮され、都心生活を豊かにしていくよう、空間の創出・利活用において、官民連携の様々な手法を効果的に活用していきます。
 - ・新しい文化・コミュニティを育てる空間・スペース・防災の拠点形成
 - ・生物多様性に配慮した自然度の高い空間 など
- 都心ならではの魅力を創造する空間・活動（プレイスメイキング）とその運営・マネジメントの展開を活発にしていきます。
- 官民が連携したオープンスペースを充実させていく様々な手法・制度を効果的に活用していきます。
 - ・市民緑地認定制度、SEGES：緑の認定制度等
 - ・公共空間とその利活用のポテンシャルの評価（Potential Public Resource）

▶方針図

心地よさが際立ち、安らぎを感じる都心環境の形成



環境創造軸



都市機能連携軸



エリア回遊軸



都心・千代田の象徴的拠点
(A1~2)



国際ビジネス・文化交流拠点
(B1~3)



高度機能創造・連携拠点
(C1~6)



まちの魅力再生・創造拠点
(D1~5)

都市計画公園・緑地

河川・濠

風致地区

都心の骨格的な緑と水辺	
環境創造軸	江戸城の遺構としての歴史性とともに、皇居周辺の大規模緑地、内濠、外濠、日本橋川、神田川の緑と水の骨格を保全・継承していきます。多様な生物が棲息し、多くのひとに親しまれる空間・ネットワークを形成し、豊かで快適な都心環境を創造・継承していきます。
都市機能連携軸	都心の放射・環状の骨格的な道路沿道において、街路樹や特徴ある並木、植栽とその適切な維持管理などによって、うるおいある環境や沿道の連続性を強めていきます。
エリア回遊軸	まちと駅、個性ある界隈をつなぐエリアの主要な道路沿道において、歩きやすく、潤いを感じられる環境、空間の創出を進めていきます。
拠点育成に伴い再生・創造する豊かな空間	
都心・千代田の象徴的拠点	東京駅丸の内駅舎、駅前広場、行幸通りなど、首都・東京の顔となる象徴的空間を中心に、周辺街区の建築物や敷地内の空地、道路等の公共空間、地上・地下の通路などがトータルデザインのもとに連続性と一体性を保ち、親しみ活用される拠点としていきます。国会議事堂及び周辺においては、首都機能を象徴する景観と空間構成を継承する拠点としていきます。
国際ビジネス・文化・交流拠点	都心ならではの国際的な都市機能や多彩な都市機能が高度に集積するなかで、都心の骨格的な緑と水辺との連続性を高めながら、働き、訪れ、滞在するひとがより豊かな時間を過ごし、都心の多彩な活動に参加し、体験・交流できる空間がつながり、広がっていく拠点としていきます。
高度機能創造・連携拠点	まちの顔となる主要な都市機能が集積するなかで、地上・地下、公共・民間の空間の連続的・一体的なデザインや空間活用を進めるなかで、多様なひとが集まり、活動しやすい環境が充実させていく拠点とします。
まちの魅力再生・創造拠点	複数の鉄道路線が交差する利便性の高い駅周辺で、地上・地下の移動しやすい空間、安全でゆったりと滞留できる空間が充実し、駅とまちのつながりを充実させていく拠点とします。
エリアごとの個性的な空間のつながり	
麹町・番町・富士見エリア	内濠・外濠などの骨格的な緑と水辺に囲まれ、居住と商業・業務機能、大使館、教育施設などが調和した落ち着いた落ち着きある市街地環境と都心生活がより豊かになるよう、建物（壁面・屋上等）や敷地内の緑化、視覚的な緑の連続性を高め、うるおいを感じる街並みを形成するとともに、世代を超えた交流や多様性を活かした新たなコミュニティ、文化を育てる空間の充実を進めていきます。
秋葉原・神田・神保町エリア	江戸の下町の風情や味わいある建物とともに、路地など奥行きを感じる空間を大切にしながら、道路・公園等の既存の公共空間との一体的な空間、街区レベルの開発等を契機に創出される新たな空間などとともに、まちの活力、賑わい、文化を継承・創造していけるよう、多彩な“場所”を活用し、マネジメントしていきます。
都心中枢エリア	都心・千代田の象徴的拠点、国際ビジネス・文化・交流の拠点において、都心ならではの豊かな空間の創造を進めるとともに、永田町・霞ヶ関の一带（一団地の官公庁施設）では、国会議事堂周辺の緑地や日比谷公園、内濠等の水辺と一体的な環境を保ち、緑豊かな国家中枢機能の風格を継承・創造していきます。

他テーマとの連携

テーマの幹となるまちづくりの「方針」とともに、他の複数のテーマとのまちづくりの効果的な連携を意識して、分野の境目のない取組みを進めていきます。

